

平成27年9月26日（土）

日本緑化工学会

平成27年通常総会

日本大学 生物資源科学部 1号館4階 141講義室
(藤沢市亀井野1866番地)

－ 次 第 －

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 案
 - (1) 第一号議案 平成26年度事業報告
 - (2) 第二号議案 平成26年度決算報告
 - (3) 第三号議案 平成27年度事業計画案
 - (4) 第四号議案 平成27年度収支予算案
 - (5) 第五号議案 役員の改選
5. その他
6. 閉 会

1. 第 45 回日本緑化工学会大会

開催年月日：平成 26 年 8 月 30 日（土）～9 月 1 日（月）
開催地：帯広畜産大学（北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地）
大会参加者：176 名 懇親会参加者：114 名
発表題数：96 題（論文 25、技術報告 38、研究交流発表 33）
最優秀ポスター賞：4 件（論文 1、技術報告 2、研究交流発表 1）

2. 研究会等

(1) 防災緑化研究部会 第 45 回大会にて研究集会を開催

開催年月日：平成 26 年 8 月 31 日（日） 15:00～16:30
開催地：帯広畜産大学 講義棟 25 番講義室（北海道帯広市）
テーマ：「森林はどのように斜面を安定化するか!?!」
参加人数：90 名

(2) 生態・環境緑化研究部会

① 第 45 回大会にて研究集会を開催

開催年月日：平成 26 年 8 月 31 日（日） 16:30～18:00
開催地：帯広畜産大学 講義棟 25 番講義室（北海道帯広市）
テーマ：「地域性種苗利用の最前線 ～使った・困った事例紹介ワークショップ」
参加者数：100 名

② 生態系被害防止外来種リストおよび行動計画への意見とりまとめ

③ 地域性種苗普及促進ワーキンググループ

ホームページへ「緑化植物ポータルサイト」を掲載する作業を開始
2015 年 9 月から試行サイトの運用開始。順次、種ごとの情報を整理している
http://www.jsrt.jp/JSRT_Plants/index.html

(3) 都市緑化技術研究部会 シンポジウムを開催

開催年月日：平成 26 年 11 月 12 日（水）
開催地：新木場タワー 1 階大ホール（東京都江東区）
テーマ：「グリーン・インフラを活用した豪雨対策の潮流」
演題：3 参加者数：220 名

(4) 乾燥地緑化研究部会 乾燥地緑化研究部会第 20 回シンポジウムを開催

開催年月日：平成 27 年 2 月 14 日（金） 13:00～
開催地：鳥取大学乾燥地研究センター・会議室（鳥取市浜坂）
テーマ：「乾燥地の生態系とその課題」4 メキシコの乾燥地生態系とその保全・活用
参加者数：40 名 共催：鳥取大学乾燥地研究センター

(5) 緑・健康研究部会 第 2 回ワークショップを実施

開催年月日：平成 26 年 12 月 5 日（金）
開催地：京都府立大学および周辺（京都府京都市）
テーマ：「緑の癒しについて考えるー初冬の京都に癒されて見ませんか？」
参加者数：21 名

(6) 生物多様性緑化研究部会 シンポジウムの後援（2 件）

「自然生態園から多摩丘陵へ」（平成 26 年 10 月 4 日・明治大学）
「都市のエコロジカルネットワーク」（平成 26 年 12 月 6 日・明治大学）

3. シンポジウム

(1) 第 45 回大会 公開シンポジウム

企画：斜面緑化研究部会／積雪寒冷地緑化研究部会 合同企画

テーマ：「自然回復法面緑化の寒冷地域における課題」

開催年月日：平成 26 年 8 月 30 日（土）

開催地：帯広畜産大学 講義棟 大講義室（北海道帯広市）

演題：4 参加者数：150 名

(2) 平成 26 年度 公開シンポジウム（防災緑化研究部会企画）

テーマ：「海岸林再生の現状と課題」

開催年月日：平成 27 年 7 月 11 日（土） 13：30～16：30

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 310（東京都渋谷区）

演題：7 参加者数：110 名

後援：国土交通省、環境省、林野庁、宮城県、福島県、公益社団法人国土緑化推進機構、
公益社団法人宮城県緑化推進委員会、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会、
日本林業技士会

4. 現地見学会

(1) 第 45 回大会 現地見学会

開催年月日：平成 26 年 9 月 1 日（月）

見学地：日勝峠・十勝千年の森・帯広の森（北海道帯広市）

参加者数：40 名

5. 学会誌の発行

(1) 第 40 巻 1 号：平成 26 年 8 月 20 日発行 298 ページ（第 45 回大会特集号）

(2) 第 40 巻 2 号：平成 26 年 11 月 30 日発行 124 ページ

(3) 第 40 巻 3 号：平成 27 年 2 月 28 日発行 102 ページ

(4) 第 40 巻 4 号：平成 27 年 5 月 31 日発行 72 ページ

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行

(1) Vol. 11 No. 1：平成 27 年 1 月発行 238 ページ（23 編）

(2) Vol. 11 No. 2：平成 27 年 7 月発行 89 ページ（8 編）

2014 年の Impact Factor の係数は 0.723

7. 平成 26 年度日本緑化工学会賞の授与

論文賞：岩永 史子 氏

「樹木の環境ストレス耐性に関する研究」

論文賞：執印 康裕 氏

「森林の崩壊防止機能の定量的評価に関する研究」

論文賞：山瀬 敬太郎 氏

「山地荒廃斜面の緑化と斜面安定に関する研究」

研究奨励賞：飯田 義彦 氏

「奈良県吉野山のヤマザクラ集団に関する生物季節学的研究」

8. CPD

(1) 緑化・環境 CPD 協議会 会員数 917 名（うち当学会員 726 名）

(2) 講習会などの認定と、CPD 参加証明書の発行

今期の CPD 認定行事による CPD ポイントの認定は、合計 42.0P となった。

緑化工学会が、シンポジウム 大会 研究集会などを実施し、13.0P 発行した。

国土環境緑化協会連合会が講習会を 6 回実施し、20.0P 発行した。

NPO 法人日本緑化工協会が講習会を 1 回実施し、9.0P 発行した。

各会場で、CPD 参加証明書の発行を行った。

(3) CPD プログラム認定委員会

プログラム認定を随時行った。

(4) その他

ホームページを適宜更新し、認定行事の広報を行った。

9. 学会広報事業

(1) HP 運営ワーキンググループによるホームページの運営

(2) 公式ブログの運営と記事の企画・収集 <http://blog.canpan.info/jsrt/>

10. 環境省への意見書の提出

(1) 愛知目標の達成に向けた外来種対策の取り組みについて

昨年に引き続き、意見を会員からとりまとめ、環境省自然環境局野生生物課長へ提出した。

なお、「外来種被害防止行動計画」(環境省・農林水産省・国土交通省)と「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト」(環境省・農林水産省)は平成 27 年 3 月 26 日に発表された。

(2) 自然公園における法面緑化指針案に関する意見

斜面緑化研究部会を中心に、検討中の指針に対する意見をとりまとめ、環境省自然環境局へ意見を提出した(2015 年 2 月 26 日)。

11. その他事業

(1) 地すべり学会大会にて斜面緑化研究部会がポスターを作成し「緑化工における外来種問題」についての特別展示を行った(平成 26 年 8 月 19 日～22 日・つくば)

(2) 浦安市 震災アーカイブへの資料提供について

浦安市より、浦安市の液状化に関する当学会誌および都市緑化技術研究部会の報告書について資料の提供依頼があり、資料をデジタルアーカイブとして掲載するため提供した

(3) 日本緑化工協会主催「第 36 回緑化工技術講習会」の後援

開催年月日：平成 27 年 2 月 2・3 日

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

備考：講師派遣 2 名

(4) 応用生態工学会第 18 回大会(平成 26 年 9 月 18 日～21 日・首都大学東京)の後援

(5) 「TOKYO GREEN 2020」推進会議キックオフ・フォーラム(平成 26 年 11 月 25 日・明治大学)の後援

(6) 岡山大学主催シンポジウム「乾燥地における樹木・森林の生理と生態」(平成 26 年 12 月 13 日・岡山大学)の後援

(7) 万博記念公園の明日を考える会主催シンポジウム「万博記念公園の価値とその創造」(平成 27 年 3 月 17 日・ホテル阪急エキスポパーク)の後援

12. 会員数(平成 27 年 7 月末現在、(括弧)内は前年度末、((二重括弧))内は前々年末)

(1) 名誉会員： 7 名 ← (4 名) ← ((4 名))

(2) 正会員： 609 名 ← (637 名) ← ((640 名))

(3) 学生会員： 110 名 ← (96 名) ← ((108 名))

(4) 賛助会員： 55 団体 ← (55 団体) ← ((61 団体))

(5) 購読会員： 40 団体 ← (39 団体) ← ((39 団体))

※ 学生会員に対する会費の優遇措置を、昨年度より実施

第二号議案 収支決算報告

平成26(2014)年度 収支報告書

(平成26年8月1日～平成27年7月31日)

	費目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	対予算割合(B/A×100)	摘要
収入の部	正会員費	5,000,000	3,648,000	-1,352,000	72.96	正会員 611名 / 今年度入金 456名 (@8,000)
	正会員費・未収金		634,200	634,200		過年度分入金 81名
	賛助会員費	1,925,000	1,960,000	35,000	101.82	賛助会員 55団体 / 今年度入金 56団体 (@35,000)
	購読会員費	312,000	288,000	-24,000	92.31	購読会員 37団体 / 今年度入金 35団体 (@8,000)
	購読会員費・未収金		16,000	16,000		
	学生会員費	380,000	216,000	-164,000	56.84	学生会員 96名 / 今年度入金 54名 (@4,000)
	学生会員費・未収金		56,000	56,000		過年度分入金 14名
	入会登録料	35,000	35,000	0	100.00	50名 (@700)
	投稿料	800,000	687,000	-113,000	85.88	通常号(論文・短報)、大会号(論文技術報告)
	広告料	1,400,000	1,345,000	-55,000	96.07	Vol.40-1～Vol.40-4分
	雑収入	1,300,000	1,821,644	521,644	140.13	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、第44回鳥取大会補助費返金、利息等
	小計	11,152,000	10,706,844	-445,156	96.01	
	繰越金	4,740,666	4,740,666			
合計	15,892,666	15,447,510	-445,156	97.20		
支出の部	会議費	50,000	129,338	79,338	258.68	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	550,000	951,488	401,488	173.00	理事会交通費
	事務人件費	350,000	320,865	-29,135	91.68	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通信費	800,000	758,038	-41,962	94.75	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	150,000	122,700	-27,300	81.80	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	6,500,000	6,713,477	213,477	103.28	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版分担金
	大会補助費	500,000	36,720	-463,280	7.34	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	200,000	329,174	129,174	164.59	
	研究部会補助費	300,000	0	-300,000	0.00	
	委員会等経費	300,000	13,000	-287,000	4.33	編集委員会、大会誌編集委員会
	事務委託費	1,800,000	1,877,688	77,688	104.32	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	300,000	70,000	-230,000	23.33	管理経費
	諸会費	150,000	140,000	-10,000	93.33	JABEE、JAFEE
	震災特別対策費	200,000	0	-200,000	0.00	震災調査費用
	雑費	100,000	455,007	355,007	455.01	振込手数料 他
予備費	3,642,666	0	-3,642,666	0.00	慶弔費 他	
合計	15,892,666	11,917,495	-3,975,171	74.99		

次期繰越金

3,530,015

平成26年度 日本緑化工学会の収支決算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成27年9月1日

日本緑化工学会経理担当理事 田中賢浩

平成26(2014)年度 日本緑化工学会(英文誌)

【収支報告書】 平成26年8月1日～平成27年7月31日

	費目	予算額	決算額	差額	摘要	
収入	正会員費	588,000	570,150	-17,850	購読者 80名/今年度入金 71名	
	学生会員費	25,200	12,600	-12,600	購読者 6名/今年度入金 3名	
	出版分担金	150,000	0	-150,000		
	小計	763,200	582,750	-180,450		
	繰越金	102,889	102,889			
合計	866,089	685,639				
支出	購読費	LEE誌	610,000	610,575	575	購読料(10巻2号、11巻1号)
	諸会費	2015年	150,000	150,000	0	ICLEE運営事務負担金
	合計		760,000	760,575	575	
次期繰越金				-74,936		

平成26(2014)年度 貸借対照表 (和文誌・英文誌)

平成27年 7月 31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	64,915	前受け会費	193,500
預 け 金	3,711,246	未払い費用	547,182
仮 払 金	278,250		
未 収 金	141,350	次期繰越金	3,455,079
合 計	4,195,761	合 計	4,195,761

－ 財 産 目 録 －

資産の部

科 目	摘 要	金 額
現 金	事務局	64,915
預 け 金	みずほ銀行 本郷支店	1,625,184
	本郷郵便局	2,086,062
	小 計	3,711,246
仮 払 金	購読誌(LEE誌)	278,250
	小 計	278,250
未 収 金	BN販売	6,350
	別刷り代	9,000
	投稿料、会費	126,000
	小 計	141,350
合 計		4,195,761

負債の部

科 目	摘 要	金 額
前受け会費	正会員	74,800
	学生会員	104,000
	正会員(英文誌)	14,700
	小 計	193,500
未払費用	事務委託費	469,422
	シンポジウム・見学会補助費	77,760
	小 計	547,182
合 計		740,682

－ 会 計 監 査 報 告 －

平成26年度(平成26年 8月 1日 ~ 平成27年 7月31日) 収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成27年 9月 1日

平成26年度 日本緑化工学会

監事

藤原 宣夫

同上

監事

中野 裕司

第三号議案

日本緑化工学会 平成 27 年度事業計画 (案)

(平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日)

1. 第 46 回日本緑化工学会大会

開催年月日：平成 27 年 9 月 26 日～28 日

開催地：日本大学生物資源科学部 (神奈川県藤沢市亀井野 1866 番地)

発表題数：82 題 (論文 32、技術報告 23、研究交流発表 27)

口頭発表 26 件 (論文 18、技術 8)、

ポスター発表 56 件 (論文 14、技術 15、研究交流 27)

※ 47 回大会は京都大学 (京都府京都市) で平成 28 年 9 月に開催予定

2. 研究会

- (1) 斜面緑化研究部会／生態・環境緑化研究部会 第 46 回大会にて合同研究集会を企画

開催年月日：平成 27 年 9 月 26 日 (土) 15:00～17:00

開催地：日本大学生物資源科学部 1 号館 141 講義室 (神奈川県藤沢市)

テーマ：「生物多様性に配慮した公共事業の推進にむけた取り組み」

- (2) 生態・環境緑化研究部会／地域性種苗普及促進ワーキンググループ

緑化植物ポータルサイト (データベース) の作成・ホームページへの掲載作業

- (3) 都市緑化技術研究部会

研究会を 1～3 回開催予定。テーマは「グリーン・インフラとその活用」を中心に行う。

時期および開催場所は未定

- (4) 緑・健康研究部会

「緑と人の健康」に関するワークショップを開催予定。時期および開催場所は未定

- (5) 乾燥地緑化研究部会 第 21 回シンポジウムを企画

テーマ：「乾燥地の生態系とその課題」5 (詳細・開催時期等は検討中)

- (6) 生物多様性緑化研究部会 シンポジウムの後援を予定

「都市のエコロジカルネットワークと鳥散布」(平成 27 年 12 月 5 日・明治大学)

- (7) 防災緑化研究部会 シンポジウムあるいは研究集会の開催を予定

テーマ：「海岸林再生の現状と課題 II」(詳細は検討中)

開催年月：平成 28 年 7 月頃を予定

(緑化工研究部会)

斜面緑化研究部会 都市緑化技術研究部会 生態・環境緑化研究部会

乾燥地緑化研究部会 積雪寒冷地緑化研究部会 生物多様性緑化研究部会

緑・健康研究部会 防災緑化研究部会

テーマ別のワーキンググループ

○ 防災緑化研究部会／盛土緑化ワーキンググループ

○ 生態・環境緑化研究部会／地域性種苗普及促進ワーキンググループ

3. シンポジウム

- (1) 平成 27 年度 公開シンポジウムを開催予定。時期および開催場所は未定

4. 現地見学会

- (1) 第 46 大会 現地見学会「動物園の最新緑化技術」

開催年月日：平成 27 年 9 月 28 日(月)

見学地：横浜ズーラシア及び横浜市繁殖センター見学

募集人員：25 名 (先着・事前申し込み)

- (2) 現地見学会

1 回以上の実施を予定

5. 学会誌の発行：4回発行予定（第41巻1号～4号）

第41巻1号（既刊）：平成27年8月31日発行 288ページ（第46回大会特集号）

第41巻2号：平成27年11月末発行予定

第41巻3号：平成28年2月末発行予定

第41巻4号：平成28年5月末発行予定

※第41巻2号と3号に特集「防災緑化と土砂災害」を掲載予定

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行：2回発行予定（Vol. 12 No. 1, No. 2）

7. 学会賞の授与

平成27年度日本緑化工学会賞の授与（平成28年総会にて授与予定）

8. CPD

(1) CPD 行事の認定と CPD ポイントの付与，CPD 参加証明書の発行

(2) 会員の拡大・新会員への CPD カード発行

(3) ホームページの更新 <http://www.gaecpd.com/>

(4) 必要に応じ理事会，検討部会，認定委員会を開催。通常の打合せなどは E-mail にて行う。

9. 学会広報事業

(1) HP 運営ワーキンググループによるホームページの運営

(2) 公式ブログの運営と記事の企画・収集 <http://blog.canpan.info/jsrt/>

10. その他

(1) 応用生態工学会第19回大会（平成27年9月10日～13日・福島県郡山市）への後援

(2) 世界屋上緑化会議名古屋大会2015（WGIN NAGOYA 主催・平成27年10月13日～16日・KKRホテル名古屋）の後援

第四号議案

平成27(2015年度) 収支予算書 <案>					
(平成27年 8月 1日 ~ 平成28年 7月31日)					
日本緑化工学会					
	費目	H27年度 予算額 (A)	H26年度 予算額 (B)	差額 (A-B)	摘要
収入の部	正会員費	4,880,000	5,000,000	-120,000	会員数 610名 (@8,000)
	賛助会員費	1,925,000	1,925,000	0	会員数 55団体 (@35,000)
	購読会員費	304,000	312,000	-8,000	会員数 37団体 (@8,000)/内 1団体2口
	学生会員費	380,000	380,000	0	会員数 95名 (@4,000)
	入会登録料	35,000	35,000	0	50名 (@700)
	投稿料	800,000	800,000	0	
	広告料	1,400,000	1,400,000	0	Vol.41-1~Vol.41-4
	雑収入	1,300,000	1,300,000	0	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小計	11,024,000	11,152,000	-128,000	
	前年度繰越金	3,530,015	4,740,666	-1,210,651	
合計	14,554,015	15,892,666	-1,338,651		
支出の部	会議費	50,000	50,000	0	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	450,000	550,000	-100,000	理事会交通費
	事務人件費	300,000	350,000	-50,000	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通信費	750,000	800,000	-50,000	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	100,000	150,000	-50,000	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	6,500,000	6,500,000	0	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版分担金
	大会補助費	200,000	500,000	-300,000	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	200,000	200,000	0	
	研究部会補助費	100,000	300,000	-200,000	
	委員会等経費	100,000	300,000	-200,000	編集委員会、大会誌編集委員会
	事務委託費	1,800,000	1,800,000	0	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	100,000	300,000	-200,000	管理経費
	諸会費	150,000	150,000	0	JABEE、JAFEE
	震災特別対策費	50,000	200,000	-150,000	震災調査費用
	雑費	100,000	100,000	0	振込手数料 他
	小計	10,950,000	12,250,000	-1,300,000	
予備費	3,604,015	3,642,666	-38,651	慶弔費 他	
合計	14,554,015	15,892,666	-1,338,651		

平成27年 9月 1日
日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治

平成27(2015)年度 日本緑化工学会英文誌収支予算<案>				
平成27年 8月 1日 ~ 平成28年 7月31日				
	費目	平成28年度予算額	平成27年度予算額	摘要
収入	正会員費	588,000	588,000	購読者 80名
	学生会員費	25,200	25,200	購読者 6名
	出版分担金	0	150,000	日本緑化工学会より
	合計	613,200	763,200	
支出	諸会費	613,200	610,000	LEE購読料(11巻2号、12巻1号)
		150,000	150,000	ICLEE運営事務負担金
	合計	763,200	760,000	

平成27年 9月 1日
日本緑化工学会経理担当理事 田中賢治